

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業

ナノテク支援運営委員会

ナノテクノロジーに関する最先端の研究設備とその活用のノウハウを有する 25 機関 38 組織が連携して設備の共用体制を共同で構築することを目指した「文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業」も、すでに 6 年を閲した。フォトニクス研究所は「分子・物質合成プラットフォーム」を他大学と分担して担当してきた。平成 29 年度において特筆すべきは本学の支援成果が「秀でた成果優秀賞」に選ばれたことである。規模の面で他機関に比べ大きな格差のある本学が受賞したことは高く評価されている。平成 29 年度の利用件数は 40 件であり、平成 24 年度（プラットフォームの初年度）の 15 件から大きく増加している。同様に利用日数は 31 日から 578 日へ、利用料収入は 23 万 5 千円から 113 万円へ、何れも大幅に増加している。

委細は HP (<https://www.chitose.ac.jp/~nanotec/index.html>)、を参照していただくとして、2018 年 1 月以降に実施した主な行事等を列挙する。

- ・平成 29 年度「秀でた利用成果」を受賞（約 3,000 件中から 6 件選出）。
課題名：海洋設備表面への付与を目的とした微細構造による環境負荷の少ない付着生物防止技術の開発
ユーザー氏名：室崎喬之（旭川医科大学）、野方靖行（電力中央研究所）
実施機関担当者：平井悠司、下村政嗣
「nano tech 2018（第 17 回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議）」（東京ビッグサイト）において発表と表彰式が行われた。
2018 年 2 月 14 日（水）～16 日（金）
- ・「分子・物質合成プラットフォーム H30 年度シンポジウム」（千歳科技大）を、招待講演に鈴木章先生（2010 年ノーベル化学賞）をお招きして開催した。
2018 年 6 月 2 日（土）
- ・「平成 30 年度ナノテクノロジープラットフォーム学生研修プログラム」（千歳科学技術大学）を行った。
担当者：カートハウス
参加者：2 名（九州大学、城西大学）
2018 年 7 月 31 日（火）～ 8 月 3 日（金）
- ・「平成 30 年度ナノテクノロジープラットフォーム技術支援者交流プログラム」（千歳科技大）を行った。
担当者：平井悠司
参加者：4 名（これは分子・物質合成プラットフォームで開催されたものの中では最多）
2018 年 9 月 25 日（火）
- ・「産・学・官・金」連携による新たなマッチング事業「Matching HUB Sapporo2018」（札幌パークホテル）に出展した。
2018 年 9 月 20 日（木）